

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
森林整備事業	1	森林管理道波留相津線	松阪市		(概要) 全体計画 計画延長:5,838m 幅員4.0m 利用区域面積:203ha  (目的) ・森林資源の有効活用 ・森林施業の促進による公益的機能の発揮 ・県道飯南三瀬谷停車場線の迂回路	H10	1,391	58.1%	H17年度末:2,567m H18年度以降:3,271m  【全体計画】 近年の社会経済状況等や周辺環境の変化にあわせ、平成15、18年度に全体計画の見直しを行っている。	【費用対効果分析】 B / C = 1.08  【コスト削減】 「三重県公共工事コスト削減に関する第3次行動計画」に基づき、更なるコスト削減に努めたい。 (具体的事例) ・路肩の縮減 ・補強土壁工法の採用により中心線を外側へずらし、切土法面を短くし、土工量及び法面保護工の削減 ・地形に沿った波形線形の採用	コスト削減に努め、間伐材の使用など森林資源を有効に活用しながら、法面工等には在来種を使う努力をするなど環境への配慮をしながら事業を進めたい。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。ただし、間伐材の積極的な搬出を含め、林業振興に有効活用されたい。	
							1,391	58.1%					
						H22	0	-					

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト縮減の可能性 代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
ほ場整備事業 (経営体育成基盤整備事業)	2	榑田上地区	松阪市		(概要) 全体計画 計画区域面積 : 124.0 ha 田 : 90.8 ha 畑地 : 16.5 ha 農道整備 : 18,100 m 農業集落道路 : 2,197 m 幹線用水路 : 1,535 m 用水路整備 : 17,600 m 排水路整備 : 15,600 m  (目的) 計画地域の農業生産は米を基幹作物とし、いちご、もろへいや等の露地野菜の栽培を行っています。本事業において、高生産性農業の実現、農業を担う経営体の育成、そして、農業・農村の健全な発展に寄与することを目的とし、農業の生産基盤である耕地の大区画化、用排水路と農道の整備、換地による耕地の集団化を実施します。	H8	2,700	94.5%	【区画整理】 H17年度末 : 96.2 ha H18年度以降: 4.0 ha  【社会情勢の変化】 近年の社会経済状況等や周辺環境の変化にあわせ、平成11年度に食料・農業・農村基本法が制定されました。三重県では三重県環境調整システム推進要綱を平成13年度に改定し、自然的条件を把握し、環境への配慮を検討することとなりました。これを受け、当地区において、生態系現地調査を実施したところ、多くの希少生物が確認されました。そのため、この地域の自然環境保全を目的に生態系保全工法を取り入れた工事の実施、工事区域の分割施工による生態系への影響の軽減を行いました。	【費用対効果分析】 B / C = 1.17  【コスト縮減】 「三重県公共工事コスト縮減に関する第3次行動計画」に基づき、更なるコスト縮減に努めたい。 (具体的事例) ・区画整理の盛土材を他工事で発生する残土を利用した。 ・道路工の敷砂利及び舗装材に再生材の活用した。	平成19,20年度は換地業務を残すところです。	事業進捗率が94.5%と高いこともあり、事業継続を了承する。ただし、事業費の当初計画及び変更計画の対比など増加要因に関する説明が著しく不足していたことから、本事業を事後評価の対象とすることを希望するものである。	
						H20	180	100.0%					

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト縮減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
海岸事業	10	千代崎港海岸	鈴鹿市		<p>【全体事業概要】</p> <p>離岸堤:890m (120m×6基, 170m×1基)</p> <p>【目的】</p> <p>土砂供給の減少により、海浜は年々侵食され、台風や低気圧の通過時には背後地への飛沫が生じています。このため、離岸堤の整備により波浪や高潮等による災害を防除し、堤防背後の生命と財産を守ると共に、海岸侵食の進行を防止することを目的としている。</p>	H4	2,270	87.0%	<p>【整備済み内容】</p> <p>離岸堤:770m</p> <p>【次年度以降の内容】</p> <p>離岸堤:120m</p>	<p>【社会的状況の変化】</p> <p>当該地域は、伊勢湾に面し、工業、漁業等が盛んなだけでなく、国道23号、近鉄等で名古屋方面と直結しており交通至便で、人口が集中しています。防護区域についても、依然として人家が密集しており防護の必要性に変化はありません。また、住民の防災意識の高まりから、安心して生活の出来る環境の実現のために以前と変わらず事業の必要性は高いものがあります。</p>	<p>【費用対効果分析】</p> <p>B/C = 2.4</p> <p>【コスト縮減】</p> <p>背面の沖防波堤の延伸や南側に港湾施設が造成されたことなどから、当海岸南端部分において堆砂が見られました。この堆砂により、越波の軽減や護岸基礎の安定が見込まれることから、離岸堤の整備範囲を再検討し、その結果、約230百万円のコスト縮減が可能となりました。</p> <p>【代替案】</p> <p>侵食により越波が生じる海岸の場合、近年の海岸整備においては、高波浪を強制的に碎波させる工法を組み合わせる面的防護が最適とされている。離岸堤は堆砂効果についても期待できることから、当海岸においては代替案は考えられず、現在の進捗状況及びその効果からみても現計画を進めることが妥当であると判断しています。</p>	<p>【今後の見通し】</p> <p>今後も厳しい財政状況になると予想されますが、引き続き事業の進捗を図り平成22年度の完成を目指します。</p>	<p>事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。</p>
						H22	-	-					

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト縮減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
						目標年	総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
海岸事業	11	長島港海岸	紀北町		<p>【全体事業概要】</p> <p>[中ノ島地区] 護岸補強:1,180m</p> <p>[呼崎名倉地区] 堤防補強:1,030m 離岸堤:600m (100m×6基)</p> <p>[西長島地区] 堤防補強:743m 地盤改良:192m 防潮扉動力化:2基</p> <p>【目的】</p> <p>当海岸の護岸・堤防は、昭和28年の13号台風や昭和34年の伊勢湾台風による災害後築造されたものであり、老朽化が著しく、台風時などには、堤防を越流した波が背後地の道路や家屋に砂までも巻き上げ降り注ぐといった被害が生じています。</p> <p>当該事業は、護岸、堤防の補強・改良を行うことにより、波浪や高潮等による災害を防除し、堤防背後の生命と財産を守ることが目的としている。</p>	H2	7,139	38.0%	<p>【整備済み内容】</p> <p>[中ノ島地区] 護岸補強:564m</p> <p>[呼崎名倉地区] 堤防補強:333m 離岸堤:300m (100m×3基)</p> <p>[西長島地区] 堤防補強:279m 防潮扉動力化:2基</p> <p>【次年度以降の内容】</p> <p>[中ノ島地区] 護岸補強:616m</p> <p>[呼崎名倉地区] 堤防補強:697m 離岸堤:300m (100m×3基)</p> <p>[西長島地区] 堤防補強:464m 地盤改良:192m</p>	<p>【社会的状況の変化】</p> <p>各地区とも防護区域は、依然として人家が密集しており、防護の必要性に変化はありません。</p> <p>昨今、東南海、南海地震発生が危惧され、津波による甚大な被害が想定される中、護岸、堤防の補強改良の必要性及びその機運は一層高まっています。</p>	<p>【費用対効果分析】</p> <p>[中ノ島地区] B/C = 23.9 [呼崎名倉地区] B/C = 8.5 [西長島地区] B/C = 4.2</p> <p>【コスト縮減】</p> <p>計画時において出来るだけ既存施設を有効に活用することや、各施設を細分化し、より経済的な断面を採用するなど、設計時において可能な限りコストの縮減に取り組んでいます。</p> <p>【代替案】</p> <p>当地区のように、背後に人家が連担している地域にとっては、海岸における護岸・堤防はいわゆる生命線です。地域住民の安心・安全の生活確保のため、代替案は考えられず、また、現在の事業進捗状況から判断しても、現計画で進めることが妥当であると判断しています。</p>	<p>【今後の見通し】</p> <p>厳しい財政状況の中、今後は事業の重点化を図ります。</p> <p>先ず海気象条件の最も厳しい呼崎名倉地区を最優先地区として位置付けて整備を行い、長島港海岸全体としては、平成36年度の完成を目指します。</p>	<p>事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。</p>
						H36	-	-					

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト縮減の可能性 代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等
						目標年	総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
海岸事業	12	木本港海岸	熊野市		<p>【全体事業概要】</p> <p>離岸堤(潜堤):580m (200m×1基, 190m×2基)</p> <p>【目的】</p> <p>当海岸は台風等の暴風時に汀線付近で破砕が起り、破砕した高波が砂利を巻き込んだまま打ち上がり、強風と相まって防潮堤背後の国道42号に越波する状況となっています。</p> <p>このため、離岸堤(潜堤)の整備により波浪や高潮等による災害を防除し、堤防背後の生命・財産を守ることを目的としている。</p>	H4	6,000	57.8%	<p>【整備済み内容】</p> <p>離岸堤(潜堤):390m</p> <p>【次年度以降の内容】</p> <p>離岸堤(潜堤):190m</p>	<p>【社会的状況の変化】</p> <p>背後地には依然として人家や公共施設が集積しており、防護の必要性に変化はありません。</p> <p>本海岸を含む熊野古道の世界遺産登録により、海浜保全の目的が加わり、本事業の必要性は一層高くなってきています。</p>	<p>【費用対効果分析】</p> <p>B/C = 3.1</p> <p>【コスト縮減】</p> <p>木本港海岸近隣のブロック製作ヤード所有者と調整を行い『えい航距離』の削減を図っています。</p> <p>【代替案】</p> <p>近年の海岸整備においては高波浪を強制的に砕波させる工法を組み合わせる面的防護が最適とされている。離岸堤によって海浜安定効果が期待でき、また、景観に配慮する必要があることから、本海岸について代替案は考えられず、現在の進捗状況及びその効果からみて、現計画で進めることが妥当であると判断しています。</p>	<p>【今後の見通し】</p> <p>今後も厳しい財政状況になると予想されますが、引き続き事業の進捗を図り平成25年度の完成を目指します。</p>	<p>事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。</p>
						H25	-	-					

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト縮減の可能性 代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
街路事業	13	相川小戸木橋線	津市		【全体事業概要】 道路工 504m 舗装工 504m 用地買収 9,880㎡ 建物補償 46戸	H9	3,365	90%	道路工 245m 用地買収 9,880㎡ 建物補償 46戸  H18.9月に用地買収及び建物補償全ての契約が完了しました。	旧久居市は平成18年1月に津市と合併し、相川小戸木橋線は市町村合併支援道路として位置づけられています。平成10年には近鉄久居駅の再開発ビル「ポルタひさい」が全面オープンし、これに併せてポルタひさい前の当街路事業区間に隣接する街路が整備されました。	【費用便益分析】 B/C=2.1 【コスト縮減】 舗装工においてリサイクル材の活用により工事費の約2%(6.3百万円)のコスト縮減を図ります。 歩道下に埋設する上水道・下水道(津市施工)とも工程調整し、同調施工することで、上下水道工事による舗装の掘り返し等を防ぎます。  【代替案の検討】 都市計画道路であり、用地契約も100%完了していることから、本路線の代替案は無いものと判断します。	平成21年度末の完成供用に向けて事業を推進してまいります。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。ただし、歩道の安全・適正な利用に関する調査を行い、本事業に反映することを希望するものである。
							603	42%					
						H21	2,762	100%					
					【事業目的】 旧久居市を南北に縦断する都市計画道路を整備することにより、都市内交通の円滑化、安全安心な道路環境の形成及び良好な都市景観の形成を図る。								